

クロツラヘラサギ

コウノトリ目トキ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧 I 類

Platalea minor Temminck & Schlegel

国カテゴリー 絶滅危惧 I A類

選定理由

世界的に個体数が少なく、極東のみに生息する。警戒心が強く、生息環境もヒトの活動域と重複している。

形態

全長雄81cm、雌73cm。体色は白。ヘラサギによく似るが、嘴から目先まで黒色。嘴はヘラサギに比べて少し短い。繁殖期には頭部に羽冠が現れ、胸部は橙色に色づき美しくなる。

国内分布

数の少ない冬鳥として少数が越冬する。

県内分布

七尾西湾、河北潟、柴山潟などにしばしば飛来する。長期間滞在することも多く、その場合は春に渡来し夏まで滞在することが多い。七尾西湾では1994年、1995年に繁殖行動が見られた。

生態

湖沼、湿地、水田などに生息。嘴を半開きにして水の中に入れ、頭を横に振りながら小走りに前進し、魚、甲殻類、軟体動物などを食べる。警戒心が強く、なかなか人を寄せつけない。

生息地の条件

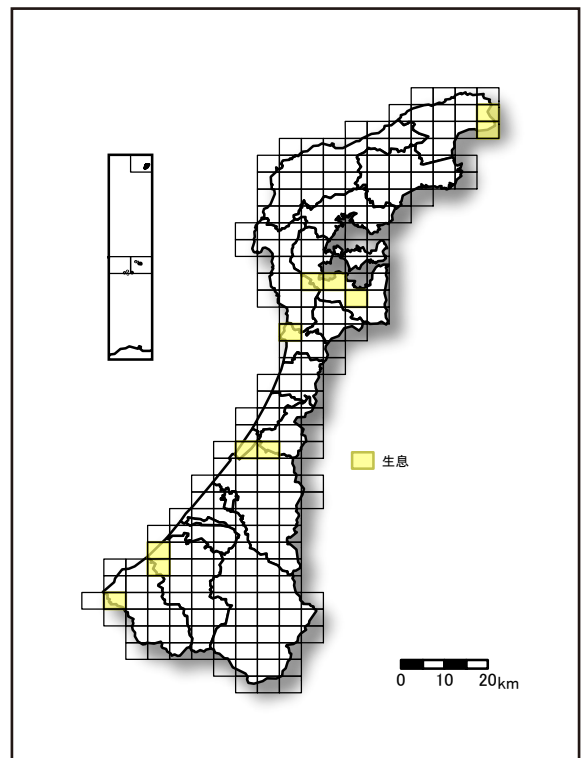
人が近づけないような広い湿地があり、魚などの餌が豊富なこと。

生存の危機

生息できる干潟の開発。水田の乾田化や排水路の整備による餌の減少。(A)

鳥

類



県内の分布